

<指導事例1> 国語総合「随想を読んでスピーチをする事例」

【学習活動の概要】

1 単元名 随想を読んでスピーチしよう

2 単元の目標

- ・話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容について自己評価や相互評価を行い，ものの見方，感じ方を豊かにしようとする。 (関心・意欲・態度)
- ・話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容について自己評価や相互評価を行い，ものの見方，感じ方を豊かにする。 (話す・聞く能力)
- ・話すこと，聞くことに必要な文や文章の組立て，語句の意味，用法について理解する。 (知識・理解)
- ・言語文化に対する理解を深める。 (知識・理解)

3 取り上げる言語活動と教材

- (1) 言語活動 状況に応じた話題を選んでスピーチをすること。
- (2) 教材 随想「書きたい気持ちを大切にしたい」井形慶子

4 単元の具体的な評価規準【P.12資料1】

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	知識・理解
・話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容について自己評価や相互評価を行い，ものの見方，感じ方を豊かにしようとしている。	・話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容について自己評価や相互評価を行い，ものの見方，感じ方を豊かにしている。	・話すこと，聞くことに必要な文や文章の組立て，語句の意味，用法について理解している。 ・言語文化に対する理解を深めている。

5 単元の指導計画

- (1) 学習活動 本単元では，随想「書きたい気持ちを大切にしたい」を読み，「書くこと」に関する自分の意見をスピーチし，グループ・クラスで自己評価及び相互評価をする。
- (2) 言語活動に関する指導上の留意点 筆者の意見をきっかけにして自分の意見をもたせ，その根拠とともに述べさせる。

次	学 習 活 動	言語活動に関する指導上の留意点
第1次	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文の読解 ・5人ずつのグループを6つ作り，2種類のワークシートに取り組む。 ＊『書くこと』について考えるためのワークシート【P.14資料2】を用い，筆者 	<ul style="list-style-type: none"> ・難解な語句の意味，用法について理解させる。読み取りが難しい場合は，机間指導の中で助言をする。 ・筆者の叙述に共感するかどうかを「○」「？」といった記号と簡潔コメ

	<p>の主張を確認する。筆者の現状分析や主張についての自分自身の考えを振り返り、自分の意見を簡潔に記す。</p> <p>＊『文字によるメッセージ』を考えるワークシート【P. 15資料 3】を用いて、文字によるメッセージにはどのようなものがあるかを考える。</p>	<p>ントで記させる。</p> <p>・自分のスピーチを考える際の資料とさせる。</p>
<p>【評価規準】</p> <p>・話すこと・聞くことに必要な語句の意味，用法について理解している。 (知識・理解)</p> <p>・「書かれた言葉」を中心に言語文化に対する理解を深めている。 (知識・理解)</p> <p>【評価方法】</p> <p>・「記述の確認」【P. 14資料 2】【P. 15資料 3】</p>		
第 2 次	<p>・「書くこと」や「書かれたメッセージを受け取ること」について，教材の内容と自分の経験等を基に考えをまとめ，構成を工夫してスピーチメモ【P. 15資料 4】を作る。スピーチメモの内容についてグループで発表し考えを深め合い，スピーチ原稿を作成する。</p>	<p>・司会を決めて進行させ，感想や考えの共通点や相違点を明らかにさせる。</p> <p>・グループ内で互いに意見を比較することにより，考えを整理させる。</p>
<p>【評価規準】</p> <p>・話すこと・聞くことに必要な文や文章の組立てについて理解している。 (知識・理解)</p> <p>【評価方法】</p> <p>・「記述の確認」【P. 15資料 4】</p>		
第 3 次	<p>・グループ内でプレススピーチを実施し，自己評価，相互評価を自己評価表【P. 16資料 5】，プレススピーチ相互評価表【P. 16資料 6】に記入する。相互評価を基にして助言し合い，代表を選ぶ。</p>	<p>・「工夫のポイント」の申告，相互評価の記入，助言と代表選出など，プレススピーチ進行の手順をあらかじめ伝えておく。</p> <p>・代表スピーチの「気付いてほしいよさ」についてグループで話し合い，一点に絞り，代表者のスピーチメモに記入させる。</p>
<p>【評価規準】</p> <p>・プレススピーチやスピーチの内容について自己評価や相互評価を行うことによって，「書くこと」についての考え方を豊かにしようとしている。 (関心・意欲・態度)</p>		

	<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「行動の観察」 <p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレススピーチやスピーチの内容について自己評価や相互評価を行うことによって、「書くこと」についての考え方を豊かにしている。(話す・聞く能力) <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「記述の確認」【P. 16資料5】【P. 16資料6】
第4次	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの代表によるスピーチを実施する。聞き手は、評価とともに「書くこと」についての自分の意見をクラススピーチ評価表【P. 17資料7】に書く。 <p>・評価を記入する時間を、各スピーチの後に2分程度設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が選んだスピーチの内容について、自らの意見と比較しながら感想を述べる。 <hr/> <p>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレススピーチやスピーチの内容について自己評価や相互評価を行うことによって、「書くこと」についての考え方を豊かにしている。(話す・聞く能力) <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「記述の分析」【P. 17資料7】

6 第4次の指導計画（1時限中の1時限）

学習段階	学習内容	学習活動	指導の留意点と評価の実際
導入	本時の学習目標を理解する。	①本時の目標と言語活動について確認する。	①・評価の観点を基にして、本時の目標を示す。 ・発表順は本時の開始前までに知らせておき、進行と計時には指導者が当たる。 ・クラススピーチ評価表の項目とは別に、個々の代表スピーチについて特に良かった点を挙げさせ、前次に各グループで挙げた「気付いてほしいよさ」と比べられるようにする。
展開	クラススピーチを行う	②代表者はクラススピーチを行う。聞き手は評価をクラススピーチ評価表【P. 17資料7】に記入する。 ③単元を通して「書く	②・発表順を掲示し、発表者は前に出てスピーチする。 ・1人のスピーチ（3分）ごとに2分程度、評価表への記入時間を設ける。 ③・代表スピーチのうち、自分自身の「書

		こと」について考えたことを、代表スピーチと関連付けて、クラススピーチ評価表【P.17資料7】に記入する。	くこと」についての考えを豊かにしてくれたものを1点選び、クラススピーチ評価表【P.17資料7】に感想を記入する。 ・選んだスピーチにおける「書くこと」についての考え方を検討し、自分の考えと比較しながら、クラススピーチ評価表【P.17資料7】に感想を記す。
終結	講評とまとめを行う。	④指導者が、スピーチについて講評する。	④・代表スピーチの「気付いてほしいよさ」（前時に各グループで挙げたもの）について指導者が紹介し、各スピーチの特長について講評する。 ・スピーチメモ【P.15資料4】、スピーチ原稿、クラススピーチ評価表【P.17資料7】を提出させる（その他の資料は回収済み）。 ★クラススピーチ評価表【P.17資料7】の「記述の分析」に基づいて評価する。

7 指導事例と学習指導要領の関連

本事例の指導事項は、次のとおりである。

エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。

「国語総合」内容「A話すこと・聞くこと」(1)

この指導事項を指導するのにふさわしいと考えた言語活動は次のとおりである（主に下線部）。

ア 状況に応じた話題を選んでスピーチしたり，資料に基づいて説明したりすること。

「国語総合」内容「A話すこと・聞くこと」(2)

【言語活動の設定理由】

「書くこと」という文学的で親しみがもてる話題について生徒それぞれが自分の考えを語り、聞くことは、新鮮で興味深い体験であり、指導事項「話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること」にふさわしいと考えた。

【資料1】「具体的な評価規準の設定例（話す・聞く能力）」

【学習指導要領】 (1)次の事項について指導する。	「話す・聞く能力」に関する評価規準の設定例（12項目）	重点化	言語活動における具体的な評価規準の設定例
ア 話題についてさまざまな角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成で意見を述べること。	a ① 話題について自分なりの課題意識をもち、問題や論点を見付けている。		・教材文を読み、「書く」スタイルの変容、「書くこと」によるメッセージの伝わり方について考えている。
	a ② 話題についてさまざまな角度から検討している。		・電話と携帯メール、手紙とメールなどを比較したり、自分自身の経験をもとにして「書くこと」や「書かれたメッセージを受け取ること」について考えたりして、「書くこと」について、様々な角度から検討している。
	a ③ 意見を述べるときに、自分の意見の根拠を明確にしている。		・「書くこと」について、自分の意見とその根拠とを明確にしている。
	a ④ 自分の考えを、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べる。		・自らの意見の根拠となる事柄を箇条に分けて示したり、考えをまとめるに至った過程をたどりながら説明したりするなどの工夫をして意見を述べている。
イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。	b ① 目的や場に応じて、伝達すべき内容がよく伝わるように、資料や機器を活用して話している。		・クラスで発表する際に提示する資料を用意し、スピーチのどこで提示するかを工夫している。
	② 目的や場にふさわしい表現で話している。		・クラスでスピーチするのにふさわしい接遇表現を用い、聞き手に対して丁寧語を用いたり、必要に応じて敬語表現を用いて話したりしている。
	b ③ 目的や場に応じた的確に聞き取り、必要に応じてメモや要約をしたり、質問や感想などを述べたりすることができる。		・グループ内のプレゼンテーションやクラスでのスピーチを聞いて、主張の要点をメモしたり、質問や感想をワークシートに記載したりすることができる。
ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、進行の仕方などを工夫して話し合うこと。	c ① 相手の考えの基となる事実、考えを形成する過程等や、自分の意見との共通点や相違点について整理したり質問したりして相手の考えを的確に理解して話し合っている。		・プレゼンテーションを聞いて、「書くこと」についての考えやその考えを形成する過程などについて、自分の意見との共通点や相違点を整理して意見を述べたり、質問したりして考えを深めている。
	c ② 話の構成や展開、言葉遣いといった論理的な側面と、表情や声の調子等の情意的な側面とに配慮して話し合っている。		・プレゼンテーションを聞いて助言しあう際に、グループ内での話し合いに進んで参加し、相手の立場を尊重して自分の考えを述べている。
	c ③ 話し合いの目的を理解して、司会者や提案者などの役割を果たしたり、話し合いの展開を考えたりしている。		・プレゼンテーションをもとにしてグループ代表を選び、「書くこと」についての考えを深めるためのスピーチとして改善する点について司会者を決めて話し合う。

<p>エ 話したり聞いたり話したり話し合ったことの内容やついて自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<p>d① 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容について自己評価や相互評価を行い、ものの方、感じ方を豊かにする。</p>	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレスピーチやスピーチの内容について自己評価や相互評価を行って、評価したりすることによって、「書くこと」についての考え方を豊かにしている。
	<p>d② 話したり聞いたり話し合ったりした際の表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プレスピーチやスピーチの表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てている。

【資料2】「書くこと」について考えるためのワークシート（第1次）

「書きたい気持ちを大切にしたい」 _____ 年 _____ 組 _____ 番 氏名 _____

1 「書きたい気持ちを大切にしたい」では次にあげたそれぞれのエピソードを通して、筆者のどのような考えが述べられているか。文中の語句を用いて次の表を完成させなさい。

書かれたものの例	エピソード	筆者の考えたこと	共感
これまでに受け取った手紙	・年頭に手紙を整理する時に、保管してある昔の手紙を読み返すと、どれだけたった後でも同じように胸が熱くなる。	(_____ ページ _____ 行目)	
昔もらったカードや手紙	・欧米の家庭では、家族の思い出話が始まると、	(_____ ページ _____ 行目)	
おばあちゃんから来た手紙」「ママが書いた僕の顔」「男の子から筆者への手紙」	・五歳の男の子が普段から、 ・筆者が五歳の男の子からもらった手紙には、彼の知っている人々の顔が描かれており、	(_____ ページ _____ 行目)	

2 筆者は「書く」ことにどのような変化がみられると述べているか。文中の語句を用いて次の表を完成させなさい。

これまでのスタイル	新しいスタイル	共感
カップルが長電話をする。	携帯電話で何時間も送受信を繰り返す。	
隣の席の社員と直接対話する。		
年賀状はお年玉付き年賀はがきで出す。		
クリスマスカードは郵送する。		

3 筆者は、「書くこと」の果たす役割がどのように変化していると述べているか。文中の語句を用いて次の表を完成させなさい。

私たちが、「書くこと」によって	共感
という傾向は、	

4 筆者は「書くことの偉大さ」をいろいろな表現で述べている。そのうち最も印象的な表現を用いて、「書くことの偉大さ」を簡潔にまとめなさい。

	共感

5 筆者の考えに共感する場合は「○」、共感できない場合は「？」を、2から5までの下欄にある「共感」の欄に記載しなさい。また、「書く」スタイルの変化、「書くこと」の「話すこと」との違いについて、この文章を読んで感じたことや考えたことを書きなさい。

(「書く」スタイルの変化について)

「話すこと（しゃべり言葉）」は、

それと比較して「書くこと（書いた言葉）」は、

【資料3】「言葉によるメッセージ」(グループごとの記録用紙) (第1次)

《文字によるメッセージ》 □班 〈特定の相手に向けて〉	〈不特定の相手に向けて〉
--	--------------

【資料4】スピーチメモ (第2次)

スピーチメモ 「書くこと」についてスピーチする 年 組 番 氏名 _____ スピーチの構成メモ 項目が足りないときは付け足すこと。	※ プレスピーチでアピールしたい項目に○をつけておく。 (内容に関するメモ) 1 「書くこと」についての考え方 2 想定できる別の考え方 3 根拠として例示するエピソードなど 4 その他 教材から引用する内容 考え方が変化したプロセス その他 (構成に関するメモ) 1 自分の考え方(結論)の位置 始め 終わり 繰り返す 2 根拠を述べる位置 結論の後で根拠をあげる 根拠をあげてから結論を述べる 3 その他 教材からの引用の役割(補強・否定) その他												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 20px; text-align: center;">1</td><td style="height: 40px;"></td></tr> <tr><td style="width: 20px; text-align: center;">2</td><td style="height: 40px;"></td></tr> <tr><td style="width: 20px; text-align: center;">3</td><td style="height: 40px;"></td></tr> <tr><td style="width: 20px; text-align: center;">4</td><td style="height: 40px;"></td></tr> <tr><td style="width: 20px; text-align: center;">5</td><td style="height: 40px;"></td></tr> <tr><td style="width: 20px; text-align: center;">6</td><td style="height: 40px;"></td></tr> </table>	1		2		3		4		5		6		
1													
2													
3													
4													
5													
6													
クラススピーチで評価してほしい点 <table border="1" style="width: 100%; height: 40px; border-collapse: collapse;"></table>													

【資料5】自己評価表（第3次）

プレススピーチ自己評価表

「書くこと」についてスピーチする _____ 年 組 番 氏名 _____

※ 次の項目について「ABC」の3段階で相互評価する。

- 1 意見が明確に伝わる。 2 考えの根拠が分かりやすい。 3 聞き取りやすい。
4 工夫は効果的である。

1 意見	2 根拠	3 話し方	4 工夫

5 特に良かったと思う点

--

6 改善したいと思う点

--

7 その他の感想

--

【資料6】相互評価表（第3次）

プレススピーチ相互評価表

「書くこと」についてスピーチする _____ 年 組 番 氏名 _____

※ 次の項目について「ABC」の3段階で相互評価する。

- 1 意見が明確に伝わる。 2 考えの根拠が分かりやすい。 3 聞き取りやすい。
4 工夫は効果的である。

班	発表者	1 意見	2 根拠	3 話し方	4 工夫	5 コメント

【資料7】相互評価表（第4次）

クラススピーチ評価表

「書くこと」についてスピーチする 年 組 番 氏名

〔1〕スピーチを聞いて次の項目について「◎○△」の3段階で評価する。

- 1 意見が明確に伝わる。 2 考えの根拠が分かりやすい。 3 聞き取りやすい。

	発表者	1 意見	2 根拠	3 話し方	4 特によい点
1					
2					
3					
4					
5					
6					

〔2〕クラススピーチから1点を選び、その発表者に向けて感想を述べなさい。ただし、自分自身の「書くこと」についての考え方も発表者に伝わるように双方の考え方を比較して書きなさい。

--